

☆☆☆毎月8日は畜舎一斉消毒の日☆☆☆

**肉用牛改良情報 2012. 3**  
**2012. 3. 11-13 市場研修会** おおいた肉用牛振興協議会

**I. 育種素材牛の選定基準**



現在、各地域改良組合  
において選定中)

1. 遺伝的産肉能力

- ①10歳未満
- ②登録点数が、概ね82点以上(但馬系雌牛は概ね81点以上)
- ③育種価：BMSNo原則2以上、ロース芯面積概ね5以上、バラ厚概ね4以上  
皮下脂肪厚概ね-3.5以下
- ④枝肉重量500kg
- ⑤その他必要と認めるもの(血統的、子牛市場成績、地域性等)

2. 遺伝的寄与率(県の特徴を有する種雄牛を始祖牛とする)

各系統別の始祖種雄牛は、「繁殖雌牛の保留方針(平成16年12月作成)」  
で県下の繁殖雌牛の産肉能力向上に寄与した種雄牛とする。

系系.....第7系桜

但馬系....茂金波、菊則土井、安美土井、八重福等

気高系....気高、金水

東豊系....福鶴57

その他....千代

3. 産子に遺伝的不良形質(登録協会が定める形質)が発現していないこと。

4. 過去の繁殖成績が良好であるもの(子牛生産指数)

現場後代検定・助成額一覧

繁殖	交配推進費	受胎(+)に 対して助成 (35頭受胎目標)	繁殖農家)50,000円 改良組合)10,000円
	高能力取得 交配推進費	人工授精時 の母牛年齢 2才以上 6才未満(初産除く)	繁殖農家)25,000円 (1セット7頭のみ対象)
	育成推進費	市場出荷時 に助成	繁殖農家) 去勢・雌 )20,000円
肥育	肥育推進費	検定肥育農場 に助成	肥育農家)60,000円



# 畜産研究部からのお願い



## 1. 直接検定候補牛

●種雄牛を造成する場合、近交係数※を高める場合がある。この結果、産子がばらつくことも予想される。

●直接検定牛は発育の劣る場合、買い上げの対象とならないことがある。飼養管理に十分な注意が必要。

※近親交配の度合いを表す指数、兄弟交配では12.5%以上となる。

## 2. 現場後代検定候補牛

●種雄牛を造成する場合、その産子を肥育して産肉能力検定を行う。

●検定候補牛は発育の劣る場合、買い上げの対象とならないことがある。

●産肉能力検定成績に種雄牛の生き残りが懸かっていますので、子牛段階での飼養管理に十分な注意が必要。

## 今後の現場後代検定・対象種雄牛

検定方法

◎選抜された候補種雄牛の産子(後代)15頭以上の通常出荷された成績を活用し、産肉能力育種価を実施。

肥育農場

◎複数を選定。

肥育期間

◎去勢牛;生後29ヶ月齢未満。 雌牛;生後32ヶ月齢未満。

検定年度	種雄牛名	生年月日	産地	血統			授精期間	検定終了
H25年度	桜久富	H21.8.25	九重町	寿恵福	平茂勝	第5隼福	H23.11.15~H24.2.14 (済み)	H27.4月
	神寿平	H21.11.30	由布市	寿恵福	神茂福	安平		
	牧奥安	H22.9.1	玖珠町	奥安福	牧福	藤錦		
予定	安福真	H22.4.18	玖珠町	安福勝	安福久	平茂勝	H24.6.15~H24.9.14	H27.11月
	吉照福	H22.7.5	三重町	光照福	寿恵福	菊安		